

研究内容

長期在外研究中には、主に三つの研究に取り組んだ。1) 「米国臨床留学プログラムにおける日本人研修医のエンパシー、レジリエンス、ヒュミリティー：混合型研究（ミシガン大学および米国財団法人野口医学研究所との国際共同研究）共同研究代表者；田島千裕／マイケル・フェターズ（ミシガン大学）、協力研究者；アリソン・ファーゲル（ミシガン大学）、榊原麗（ミシガン大学）。2) 田島千裕『混合研究法ワークブック－研究プロジェクトの計画、実施、出版まで』（単訳）北大路書房（2021年出版予定）、3) 田島千裕／マイケル・フェターズ『混合研究法用語集』（共著）新曜社（2022年出版予定）。

その他に、本の章1本、国際学術誌論文1本、国際学術論文の国際共著2本、口頭発表（国際発表）4本、ワークショップ（国際発表・招待講演）5本、および社会的活動（国際団体）が4つを研究成果として、以下に概要または成果を報告する。

1) 「米国臨床留学プログラムにおける日本人研修医のエンパシー、レジリエンス、ヒュミリティー：混合型研究（ミシガン大学および米国財団法人野口医学研究所との国際共同研究）共同研究代表者；田島千裕／マイケル・フェターズ（ミシガン大学）、協力研究者；アリソン・ファーゲル（ミシガン大学）、榊原麗（ミシガン大学）。

本研究は、米国の臨床プログラムに参加した日本人研修医約100名に対する混合型追跡調査である。現在留学事業がほぼ全面的に中断している状況の中、本研究では、過去37年間に米国の臨床プログラムに参加した者約650名に調査参加を依頼し、そのうち約100名が調査に参加した。調査は、臨床留学経験がその後どのように影響をおよぼしたかを検証したものであり、調査項目は、エンパシー、レジリエンス、ヒュミリティー、幸福度、バーンアウト度に加え、留学の長期的影響として、その後の臨床への影響、個人的な影響、語学への影響、キャリアへの影響、研究活動への影響、異文化感受性への影響など、多岐に渡る。データ収集は終了し、現在は、データ分析の段階まできている。調査結果の発表は今年度行う予定である。

2) 『混合研究法ワークブック－研究プロジェクトの計画、実施、出版まで』（単訳）北大路書房（2021年出版予定）。

本書は、『Mixed Methods Workbook - Activities for Designing, Implementing, and Publishing Projects』 Thousand Oaks; Sage (2019)の全訳である。混合研究法はここ数年で急速に発展し世界中で用いられ始めている比較的新しい研究方法であり、質的データと量的データを統合し結果を導くことで、複雑な研究課題に対し包括的な見解を導き出す研究アプローチである。これまでに日本では、翻訳本が4冊出版されている。本書は5冊目の翻訳本であり、日本における混合研究法の普及を促すことを目的としている。

3) 『混合研究法用語集』（共著）新曜社（2021年出版予定）。

量的研究方法論、質的研究方法論に加え、第三の研究手法論として急速に発展してきている混合研究法ではあるが、まだ発展途上である。日本でこれまでに出版されたオリジナル本は、3冊である。本書は4冊目のオリジナル書籍となる。本書には、230の用語と各用語の解説を収めている。

4) その他の研究成果としては、主にこれまで研究を進めてきた日本人大学生の留学での学びのプロセスとアウトカムについて、留学先国別、および、研究項目別に、報告した。障がいを持つ大学生の留学経験に関する事例研究も報告した。加えて、もう一つの専門分野である混合研究法においては、多数のワークショップで講師を務め分野の発展に貢献した。米国における混合研究法の教育方法を学んだ機会を活かし、今後日本においても先端的の情報を提供するワークショップを実施することで、日本におけるこの分野の普及に貢献したいと考える。

成果報告

著書

田島千裕 (2021 予定) 『混合研究法ワークブックー研究プロジェクトの計画、実施、出版まで』 (単訳) 北大路書房

田島千裕 / マイケル・フェターズ (2021 予定) 『混合研究法用語集』 (共著) 新曜社

著書 (章)

Tajima, C., and Fetter M. (2021 in press). Mixed Methods Research Designs. In Tierney R., Rizvi F., Ercikan K., and Smith G. (Eds.) International Encyclopedia of Education Fourth Volume. Elsevier, Amsterdam.

研究論文 (国際学術誌)

Musoke, P., Papadimitriou, A., Shannon-Baker P., and Tajima, C. (2021 in press). Developing a Comprehensive Mixed Methods Evaluation to Address Contextual Complexities of a MOOC. *Canadian Journal of Program Evaluation*. Canadian Evaluation Society

Tajima C. & Fetters M. (2021 in press) Study Abroad in the Philippines and Canada by Japanese Undergraduate Students: A Comparative Mixed Methods Study. Springer, Cham.

Tajima C. (2020) A Mixed Methods Case Study: Japanese Sojourners' Intercultural Awareness. In Karwowski W., Goonetilleke R., Xiong S., Goossens R., Murata A. (Eds.) *Advances in Physical, Social & Occupational Ergonomics. AHFE 2020. Advances in Intelligent Systems and Computing*, vol 1215 (pp. 515-521). Springer, Cham. https://link.springer.com/chapter/10.1007%2F978-3-030-51549-2_68

学会発表（国際発表）

Tajima, C. (2021). The Study Abroad Experience of a Japanese undergraduate Student with Mobility Impairment: A Mixed Methods Case Study and Other Lessons Learned as a Mixed Methods Visiting Scholar. Department of Family Medicine Research Group, University of Michigan, Michigan, USA (held online)

Tajima, C. (2021). Japanese Undergraduate Students' Study Abroad for Language and Cultural Learning. Winter 2021 Noon Lecture Series, Center for Japanese Studies, University of Michigan, Michigan, USA (held online)
<https://ii.umich.edu/cjs/news-events/events.detail.html/79686-20454250.html>

Tajima, C. (2020). Disseminating Findings: A Mixed Methods Multistage Project. Qualitative and Mixed Methods Learning Lab (QMMLL), Michigan Mixed Methods Program, University of Michigan, Michigan, USA (held online).

Tajima, C. (2020). A Mixed Methods Case Study: Japanese Sojourners' Intercultural Awareness. The 9th International Conference on Cross-Cultural Decision Making, 2020 International Conference on Applied Human Factors and Ergonomics (AHFE) and the Affiliated Conferences, Hilton San Diego, CA., USA (held online).

ワークショップ（国際発表・招待講演）

Tajima, C. (2021). Introducing your Mixed Methods Study, University of Michigan Mixed Methods Program Workshop, held at (online)（カタール、ドーハ）（招待講師）.

Tajima, C. (2021). Identifying Mixed Methods Integration Strategies, University of Michigan Mixed Methods Program Workshop held at Weill Cornell Medical College in Qatar (online)（カタール、ドーハ）（招待講師）.

Tajima, C. (2021). Consultation through Treasure Hunt Activities : Identifying Mixed Methods Integration Strategies, University of Michigan Mixed Methods Program Workshop held at Weill Cornell Medical College in Qatar (online) (カタール、ドーハ) (招待講師)

Tajima, C. (2020). Identifying Mixed Methods Integration Strategies, University of Michigan Mixed Methods Program Workshop (online) (米国、ミシガン) (招待講師)

Tajima C. (2020). Mixed Methods Integration Strategies for Dissertation or Thesis. Michigan Mixed Methods Program (online) (米国、ミシガン) (招待講師)

社会的活動（国際団体）

（米国）国際混合研究法学会理事（2020年8月～）

（米国）国際混合研究法学会マーケティング委員長（2020年8月～）

（米国）国際混合研究法学会 MOOC（大規模オンライン公開講座）共同評価委員長（2020年7月～）

（米国）ミシガン大学ミックス・メソッド・プログラム ワークショップ共同実行委員長（2020年11月）

謝辞

2020年度は研究活動に専念する機会を賜り、存分に研究活動を進めることができましたことに、心より感謝申し上げます。女子大学をはじめ法人の取り計らいに深く御礼申し上げます。今後は昨年度で上げた研究成果をさらに発展させ、クオリティーの高い研究を目指して精進して参る所存です。